

鶴城中だより

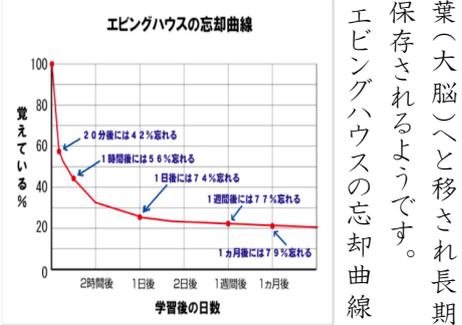
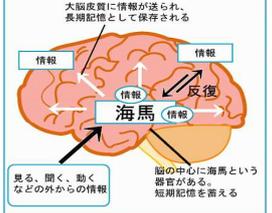
文責 校長 船津 巧 No.7

脳は忘れようとしている

人は、見て、聞いて、臭って、食して、触れることでたくさん情報を仕入れていきます。その量はあまりにも莫大です。そこで、私たちの脳は、必要な情報だけを残り、他は全て忘れようとするのです。

なぜ復習が必要?

人の脳には「海馬」と呼ばれる部分があります。全ての情報は、この海馬に一度蓄積されるそうです。しかし、その人に必要ないと判断した情報は、消し去られる前に、何らかの手立てができれば



その情報は、一時間後には半分以上を忘れると示している。つまり、子どもたちにとって、忘れない手立てのひとつが家庭学習なのである。海馬が、この情報は大切な、残さなければいけないと判断するためには、繰り返し情報を入れてやるのが大切。一度きりの情報でなく、何度も情報が繰り返し入れられ、必ずと大切な情報と判断するのである。これを意図的につくる方法が復習である。覚えるためには、繰り返し学習すること(家庭学習)が大切ということであろう。

いつでもどこでもだれにでも

山鹿市教育のキャッチフレーズに「いつでもどこでも誰にでも」気持ちのよいあいさつをしています。気持ちのよいあいさつを進んで交わす習慣は、人間関係を育て、子どもたちが安心して楽しい学校生活を送る上でとても大切です。また、地域の方々のあいさつを大切にすることで、地域との結びつきも強くなると思います。

- あ…明るく
 - い…いつも
 - さ…先に
 - つ…伝える
- 生徒は、学校でよくあいさつをしています。しかし、これが、少し間違った思い込みであったのかもしれない。
- ① 近くではあいさつできても、少し離れるとあいさつしない。
 - ② 中体連まで大きな声

であいさつしていたのに、引退後は、小さな声で恥ずかしそうに。10mほど離れただけで、目をそらしてあいさつを避ける。など、気になる部分が見えてきた矢先、ある方から、「あいさつしたのに、あいさつを返してくれなかった」という電話がありました。何が原因か?どんな指導が不足したのか?私自身が生徒に本気で指導できているのか反省しました。保護者と教職員が連携

し、本気であいさつ指導をしていく必要があるように思います。社会人となり、最低限必要なことは、「明るい、気持ちよいあいさつ」です。家庭でも「おはよう」と「ありがとう」の言葉から始めましょう。

や。か。ぜ。精神

9月16日、市中体連陸上競技大会が、カルチャースポーツセンターで開催され、本校からも、30人余りの生徒が選手として参加しました。



今年、県大会が地震のため中止となった関係で、市の大会も規模を縮小して

大丈夫? スマホ使用

3年前、NHKの番組で「心配 中高生のスマホ依存」という討論番組がありました。単に長時間スマホを使うことが問題ではなく、やめようと思ってもやめられない、つまり、自分の意思で利用をコントロールできなかつたり、触っていないとイライラして日常生活に支障を来したりする状態にある中高生が急増しているという番組でした。当時、中学生の6%、高校生は10%近くが依存傾向にあるという



保護者の皆様も是非おいでください。スマホを買い与えたのが保護者である以上、そのスマホの所有権は保護者にあります。子どもと一緒にこのことについて考えてみませんか? 毎日60〜70名の方に見ていただき、間もなく3万回のアクセスになるうとしております。ありがとうございます。下の欄外は山鹿市を直接入力または山鹿市立鶴城中学校と入力し、検索してください。

学校ホームページ是非ご覧ください

報告でした。あれから3年が過ぎました。テレビでは、毎日のように殺人などの凶悪事件の報道があつていす。そして、その裏にスマホ等が絡んでいることも少なくありません。本校でも、スマホ等を巡る問題は少なくありません。そこで、山鹿警察署に講師を依頼し、スマホ等に関する危険性やルールについて話してもらおうとしました。

10月13日(木)
午後3時40分
本校体育館